

東京電力(株)福島第一原子力発電所3号機の定期検査中に発見されたトラブル
に係る東京電力(株)からの報告について

平成14年8月22日
原子力安全・保安院

東京電力(株)福島第一原子力発電所3号機(沸騰水型、定格出力78万4千キロワット)は、平成14年7月18日から定期検査中であるが、原子炉再循環系配管の取替工事をする際、同作業の支障となる制御棒駆動水圧系(注1)配管(以下「当該配管」という。)の一次撤去・取替を実施。

当該配管取付後、8月16日から配管継手外周面に浸透探傷検査(注2)を実施したところ指示模様を認め、その後、当該配管の格納容器貫通部近傍を含めて調査した結果、表面の一部にひび状の有意な指示を認めた旨、本日(8月22日)、東京電力(株)から報告を受けた。

今後、東京電力(株)において、原因の究明を行うとともに、今回取替対象外であった配管についても取替を行うこととしている。

なお、外部に対する放射能の影響はない。

(注1) 制御棒駆動水圧系とは、復水系統などから制御棒駆動機構に通常操作のため駆動水、スクラム時の高圧水などを供給する系統である。

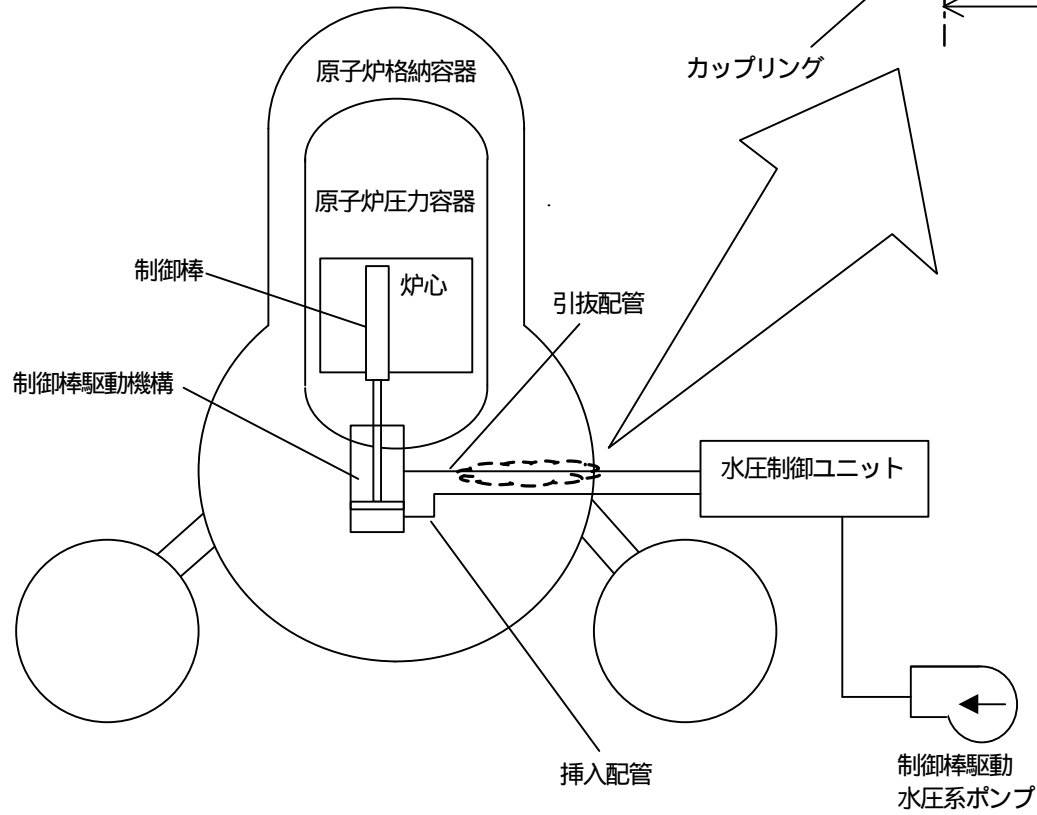
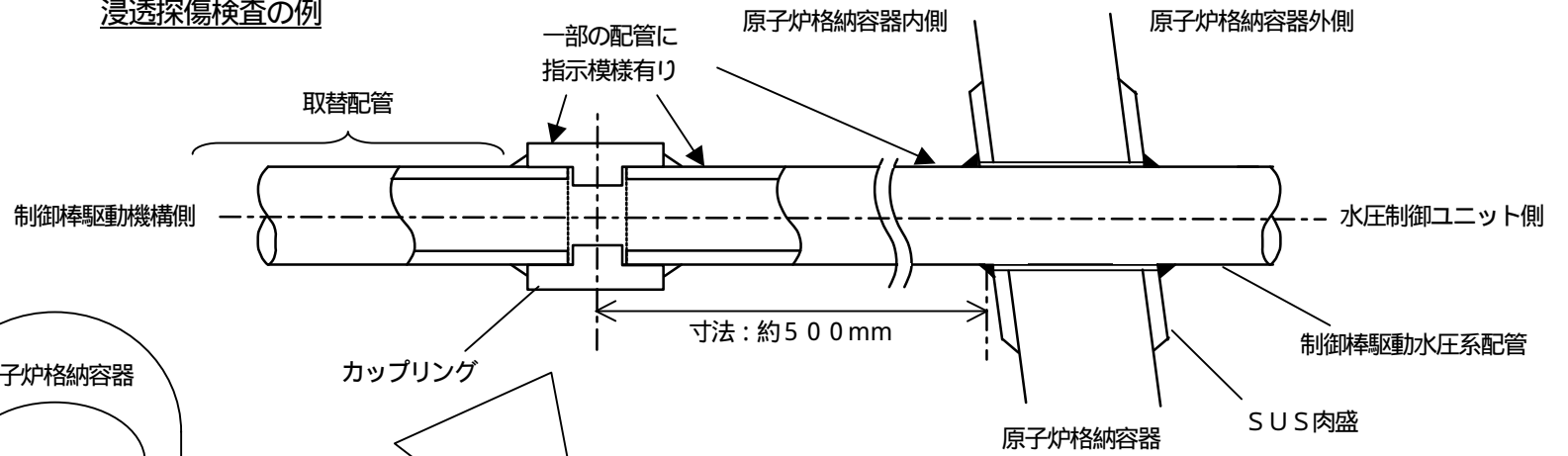
(注2) 浸透探傷検査とは、試験体表面に開口しているキズに浸透液を浸透させ、指示模様を観察することによりひびなどの欠陥を調査する非破壊試験方法である。

(I N E S による暫定評価)

基準1	基準2	基準3	評価レベル
-	-	0 -	0 -

問合せ先：原子力防災課原子力事故故障対策室
内線4911 直通3501-1637

浸透探傷検査の例



制御棒駆動水圧系配管数	： 274本
調査した配管数	： 61本
ひびが発見された配管数	： 36本

制御棒駆動水圧系配管概略図